

総合診療部

後期研修プログラム（#1－#3）

- #1 総合診療医養成コース（3年間）
- #2 女性総合診療医養成コース（3年間）
- #3 大学院進学コース（4年間）

詳細は下記参照

#1 総合診療医養成コース

北海道内の中小規模病院（内科医が1－数名）で全ての内科領域をカバーする医療機関で自立して診療できることを目標にするコースです。その後地域医療に没頭する場合、subspeciality（専門診療）を目指す場合、研究生生活（大学院や留学）も視野に入れている場合など後期研修後の進路についても責任をもって相談に乗れます。

プログラム 3年間

- その内半年－1年 大学附属病院（総合診療部及び第3内科）
- 2年－2年半 関連医療機関

具体的目標 腹部および心臓超音波検査の自立
上部下部内視鏡検査の自立
心療内科的対応能力の取得
呼吸不全の集中治療管理の自立
内科救急一般
など地域医療で自立した診療を目指す

関連医療施設

（原則として内科が専門分化せず、全ての領域に対応している医療機関で、当診療部と関連した指導医がいる）

中標津町立病院	（指導医 久保 光司 内科認定医	旭医	8期）
砂川市立病院	（指導医 吉田 行範 内科認定医	旭医	8期）
遠軽厚生病院	（指導医 井上 充貴 内科指導医	旭医	17期）など

#2女性総合診療医養成コース（3年間）

全国的に注目されている性差医療（女性外来）のエキスパートを目指すコースで、いわゆる婦人科（外科的診療を含む）とは違います。平成16年3月より総合診療部が中心になって開設した女性総合外来の実績から、必要と考えられる、内科全般に加えて、心療内科的知識、技術や漢方の処方、乳腺疾患のスクリーニングなど女性総合外来担当医に必要な知識・技術・態度を身につけることを目標にしている。

プログラムは基本的に#1と同じですが、関連医療機関は別途相談いたします。子育て等で勤務時間に制限がある場合、subspeciality（専門診療）を目指す場合、研究生活（大学院や留学）も視野に入れている場合などの進路についても責任をもって相談に乗れます。

#3大学院進学コース（4年間）

旭川医科大学大学院に入学し4年間で学位取得を目指すコース
大学院終了後、地域医療に没頭する場合、subspeciality（専門診療）を目指す場合、研究生活（大学院や留学）も視野に入れている場合などの進路についても責任をもって相談に乗れます。

- ・基本的には4年間旭川医科大学総合診療部勤務
- ・市内近郊の病院に勤務し大学院生となるオプションあり

研究テーマ

- 1 中枢性消化器機能調節メカニズムの解明
- 2 食欲の中枢調節
- 3 肥満 生活習慣と癌、生活習慣病の病態生理
- 4 消化管ホルモン、adipocytokineと疾患

何れも臨床に直結した問題で、遺伝子から個体までを扱った基礎研究（分子生物学一細胞生理学）を柱とします。

連絡 問い合わせ先

#1 #2 #3 とも処遇などの詳細や御質問は下記までお気軽に問い合わせ下さい
旭川医科大学総合診療部 奥村 利勝
e-mail okumurat@asahikawa-med.ac.jp

旭川医科大学総合診療部スタッフ（平成22年4月現在）

奥村 利勝（教授）日本内科学会（認定医、指導医、評議員）
日本消化器病学会（専門医）
日本糖尿病学会（専門医）

野津 司（講師） 日本内科学会（総合内科専門医）
日本消化器病学会（専門医）
アメリカ内科学会フェロー（FACP）
日本消化器内視鏡学会（専門医）

大平 賀子（助教） 日本内科学会（認定医）
日本消化器病学会（専門医）
日本消化器内視鏡学会（専門医・指導医）
日本肝臓学会（専門医）